

2022 組合員活動ニュース④

高知医療生協本部事務局
発行 2022.10.25

<2022 年生協強化月間> 健康づくりとつながりづくりで班を元気に!支部を元気に!

医療生協が地域で出張カフェを開催! 行政・社協も参加して 「一歩でも組合員さんに寄り添う土佐市支部」

今年度の支部目標を「一人でも取り残さない」とし、これまで認知症カフェや高齢者向け食堂「草ひばり」等支援活動を行ってきました。その中で組合員さんから場所が遠くて利用しにくいとの声が挙がり、支部で「来るのを待ちゆうだけじゃいかん、こっちから行ってみようや!」という意見が出て、その第一歩として6/28に林口公民館での出張カフェが実現しました。(組合員7人、行政から4人参加)

2回目の出張カフェは10/19に行われカレーを食べながら、みんなの話や笑顔が絶えませんでした。今後も地域の公民館などで出張カフェを続けていきたいです。



高知市西ブロック

ようこそ

高知市社会福祉協議会の担当者をゲストに

新しい運営委員さんの

ウエルカムパーティ



10/19(水)にソーレ大会議室で開催し、20名の組合員さんと3名の組織担当者、高知市社会福祉協議会から3名の地域コーディネーターが参加しました。各支部の活動紹介のあと、社協さんのリードで、3つのグループに分かれて助け合い体験ゲームをおこないました。今後、地域での困った声に応える活動につなげたいと思いました。3択クイズでは特に「旭」「朝倉」「神田」「万々」の地名のいわれの質問で大変盛り上がりしました。「他支部の運営委員さんと交流ができて、参加してよかった。」(神田支部/黒原さん)と感想をいただきました。

今回は、社協の担当者に大変お世話になりました。また、ブロック主催の取り組みを計画したいと思います。



～昭和歌謡で昔を思い出す!～

基準型通所サービス B 事業所『ふらっと旭』 回想法&みんなでマスクカラオケ

毎週木曜日の『ふらっと旭』は、医療生協の担当の日。回想法とは、昔の懐かしい写真や音楽、昔使っていた馴染み深い家庭用品などを見たり、触れたりしながら、昔の経験や思い出を語り合う一種の心理療法です。

テレビで懐かしの紅白歌合戦を見ながら、「若い時にこの歌が流行ちよった」「この歌手のファンやった」「この時代を思い出す」と昔話に花が咲きました。そのあと、カラオケを流し、最初はコロナ禍



で歌うことも遠慮ぎみでしたが、戸を開けっ放してマスクを着用し、距離をとってみんなで声を出してみました。

「声を出せると気持ちがい」「好きな歌が聞けて楽しかった」と来月もやってほしいとのリクエストがあったので、11月も計画したいと思います。



『ふらっと旭』とは、高知市の基準型通所サービス B 事業所で、実施主体はアテラーノ旭、運営主体は、医療生協旭西支部・旭南支部も参加している生活支援体制整備事業第二層協議体「旭やるかい」が、住民主体(ボランティア)で運営しています。高知市元町にあり、月曜から土曜日 10時から 15時まで開いています。要支援 1・2の方が対象ですが、元気な高齢者も参加できます。医療生協の健康づくり活動のノウハウを生かして、毎週木曜日、いきいき百歳体操・脳いきいき教室・お口の健康・各種ゲーム・美文字など多彩な取り組みをおこなっています。

何でも相談サロン



健康づくり・つながりづくり・お困りごとの解決も♪ 医療生協のこだかさ支部も加わった地域サロンを開設しています。「**何でも相談サロン こだかさ**」は、新屋敷しばてんハウス、上街・高知街・小高坂地域包括支援センター、小高坂地区民生委員児童委員協議会、高知市社会福祉協議会、高知医療生活協同組合こだかさ支部、小高坂地区社会福祉協議会と地域の様々な団体が参加した実行委員会で運営しています。11月24日(木) 13:30～音楽会《コーラス》12月22日(木) お餅つき(予定) 13:30～をおこないます。

